

単位：千円

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明
<p>【広報課】</p> <p>広報刊行物発行費</p>	<p>68,013 (65,455)</p> <p>諸 7,320</p> <p>⊖ 60,693</p>	<p>1 県広報誌の発行 63,346</p> <p>県の重要施策や課題、お知らせ情報等をわかりやすく伝える広報誌を発行する。</p> <p>県広報誌「滋賀プラスワン」の発行 A4判 年6回</p>
<p>県政放送費</p>	<p>63,553 (63,032)</p> <p>⊖ 63,553</p>	<p>1 テレビ・ラジオ放送 63,508</p> <p>県政情報や安全・安心情報、滋賀の魅力を紹介する番組等をテレビ・ラジオで放送する。</p> <p>(1) テレビ（びわ湖放送） 62,226</p> <p>① 広報番組「テレビ滋賀プラスワン」 33,385 (週1回・19分 年30回)</p> <p>② 広報番組「手話タイムプラスワン」 8,470 (隔週・9分 年20回)</p> <p>③ 毎日安心！5分でわかる暮らしの情報お届け事業 20,371 「しらしがテレビ」 (毎日・4分)</p> <p>(2) ラジオ（FM滋賀） 1,282 「滋賀プラスワンインフォメーション」(月2回・5分)</p>
<p>広聴事業費</p>	<p>5,120 (7,735)</p> <p>⊖ 5,120</p>	<p>① 1 県民アンケート調査実施事業 819</p> <p>県政における課題について、適時迅速に県民の意識や意向を調査し把握する。</p> <p>県内向け調査（年間3回程度） 県外向け調査（年間1回程度）</p>

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明	明
一般広報費	34,654 (34,115)	<p>①重 1 広報媒体活用検討事業</p> <p>県民等に対し必要な県政情報等を着実に届けるため、時代にあった広報媒体のあり方について中期的方向性を検討する。</p> <p>2 滋賀県公式ホームページ改修事業</p> <p>滋賀県公式ホームページについて、さらに情報を探しやすくするための改修を行う。</p> <p>(1) ストック情報表示の改修 (2) スマートフォン対応の強化</p>	366 4,000
	諸 4,063		
	⊖ 30,591		
県外広報活動費	20,292 (22,300)	<p>重 1 滋賀の戦略的県外PR事業</p> <p>滋賀の魅力を広め、認知度や好感度を高めるため、本県の魅力的な素材や旬の話題を取り上げ、首都圏や海外の方々等に対して、戦略的にターゲットに届くPR発信を行う。</p>	20,292
	国 10,146		
	⊖ 10,146		
報道関係機関連絡調整費	5,518 (1,744)	<p>①重 1 プレスセンター機能強化事業</p> <p>県だけでなく、民間の力もあわせて多様な情報を集約し、オール滋賀で県内外に強力に情報を発信するため、会見室の環境整備および情報発信機能の強化を図る。</p> <p>(1) 会見室の環境整備（音響設備、映像設備の機器更新等） (2) フォーリンプレスセンターを活用した情報発信 (3) WeChat を活用した情報発信</p>	3,850
	⊖ 5,518		

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明
<p>【防災危機管理局】</p> <p>防災行政推進費</p>	<p>335,569 (693,096)</p> <p>国 2,018</p> <p>使 669</p> <p>諸 6,116</p> <p>起 137,600</p> <p>⊖ 189,166</p>	<p>①^新①^重 1 県民防災力アップ事業 1,009 日常生活の中に浸透し、生活に根ざした「生活防災」の普及や、子ども食堂など様々な場における子どもたちへの防災教育を推進する。</p> <p>①^新②^重 2 滋賀の自主防災組織パワーアップ事業 875 様々な地域特性に対応したモデルとなる「地区防災計画」の策定を支援するとともに、策定の手引きを作成する。</p> <p>①^新③^重 3 防災と福祉の連携モデル構築事業 510 災害時における要配慮者の個別支援計画の策定を支援するため、防災と福祉の連携促進モデルを構築する。</p> <p>④^重 4 女性の参画による防災力アッププロジェクト事業 402 女性の参画による地域防災力向上施策推進のための委員会を立ち上げるとともに、推進のためのフォーラムを開催する。</p>
<p>防災航空体制整備費</p>	<p>261,793 (214,926)</p> <p>起 11,900</p> <p>⊖ 249,893</p>	<p>1 防災航空体制の整備・運航 253,793 ヘリコプターの機動性を活かし、他府県とも連携した広域的な災害対策活動の実施や、市町の救急・救助・消火活動を支援するため、定期的な点検や機材の整備を行うとともに、二人操縦士体制の導入など安全運航を確保する。</p>

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明
地震対策費	<p style="text-align: right;">7,755 (10,373)</p> <p>⊖ 7,755</p>	<p>重 1 滋賀県地震防災プラン推進事業 1,465 平成 29 年度に策定された滋賀県地震防災プランに基づき、受援に必要な資機材の整備や受援図上訓練を行うとともに、帰宅困難者支援について対策を検討する。</p> <p>2 地震対策強化支援事業 1,441 地域防災力の強化、災害発生時における的確な対応に資するため、市町および県民を対象とした各種研修を行う。</p>
原子力防災対策費	<p style="text-align: right;">236,225 (346,551)</p> <p>国 234,459</p> <p>⊖ 1,766</p>	<p>1 原子力防災対策実効性向上事業 1,167 実効性ある多重防護体制の構築を図るため、市町等との連携を強化するとともに、放射線実験教室、放射線・原子力防災セミナーや出前講座を開催し、リスクコミュニケーションを推進する。</p> <p>2 原子力防災対策強化事業 33,502 原子力防災対策の実践力向上、避難中継所・一時集合場所等への必要資機材の整備や環境放射線モニタリングの強化、職員の専門知識の向上を図る。</p> <p>3 原子力防災対策の推進 201,556 モニタリング・通信システム、測定機器を運用・維持し、原子力防災活動資機材を整備する。</p>

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明
消防学校費	119,709 (71,524) 使 111 諸 2,714 起 41,900 ⊖ 74,984	1 教育訓練実施事業費 14,320 消防学校における教育訓練の充実を図るために、水槽付消防ポンプ自動車をはじめ訓練に必要な資機材を整備する。 長 2 学校施設長寿命化事業 45,224 長寿命化対策（予防保全）として、管理棟、宿舎棟および屋内訓練場の外壁等改修工事、空調・給排水設備の修繕を実施する。